

パーソナルコンピュータのソフトウェアで遠隔運用操作を行う無線局の設備説明書

平成**年**月**日

1. 無線局

免許の番号: 中A第 号 免許人氏名: ** **

2. 遠隔操作運用の方法

無線設備の設置場所: *****

通信回線: 家庭内LAN設備およびインターネット回線

3. パーソナルコンピュータ(以下PCと略す)により行う事ができる操作

インターネットVPNによる被制御、制御PC間の接続。PCプログラムにより無線設備の操作全般について、無線設備の直接操作に準じた操作を行う事が可能です。

カメラによる目視監視。音声の伝送はVoIPによる。

4. 免許人以外が操作を行う事ができない仕組み

(1) 遠隔からの接続

操作、被操作を行うPC間の接続と通信は、暗号化したインターネットVPN接続で行うVPN接続は、次の4項目の一致が必要

被接続ネットワークのIPアドレス、事前共有鍵、接続IDおよびパスワード

(2) 被接続PCの電源投入

次のどちらかで行う

① ウェイクオンLAN(WOL)を使い接続PCから電源起動マジックパケットを送信して行う。これには被接続PCのIPアドレスとMACアドレスの一致が求められる。

② 当該機種が持つWeb-control機能を使い、ブラウザ認証で接続して行う。

(3) 被接続PCの操作

操作を行うPCからIDとパスワード認証で接続をしたうえで操作を行う。

5. 通信回線並びにPC異常時の連続送信停止機能

使用する送信機において、最大連続送信時間を設定する事で通信回線、PCの故障等で送信停止操作が不能になった場合でも自動的に送信機で電波の発射を停止する。

6. 異常時の対応

遠隔操作運用を行う場所から無線設備の設置場所までの移動および必要な対応は 3 時間以内とする。

以上